



## 「十三湖高原まつり」始まって以来の大盛況！

11月8日、道の駅十三湖高原トーサムグリーンパークで十三湖高原まつりが開催されました。ワンコイン（500円）で売り出された市浦地区名産の市浦牛を使った「市浦牛丼」には、イベント始まって以来のたくさんの人が行列を作ったため11時の販売開始を30分繰り上げましたが、追加分を含め用意した500食があっという間に売り切れました。その他しじみすくい、市浦牛入りコロッケ、しじみ入塩焼きそば、おでん等も即完売でした。

### 主な内容

第5回定例会の概要	2～3	議決結果表	9
平成31年度各会計決算	3～4	次回定例会の予定	10
一般質問	5～8	民生文教常任委員会現地調査	10
予算決算特別委員会	8	編集後記	10

# 令和2年第5回定例会

令和2年第5回定例会が9月3日から17日までの15日間の会期で開催され、平成31年度一般会計歳入歳出決算など市長から提出された議案31件、議員発議1件を原案のとおり可決、認定しました。

## 補正予算

### ○令和2年度一般会計補正予算（第5号） 【補正額 5億5,204万7千円】

<主な事業>

- ・議会活動費（▲358万円）  
新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の先進地視察を行わないこととしたため旅費を減額するものです。
- ・高齢者生活支援タクシー券配布事業（2,434万3千円）  
75歳以上の方のみで構成される世帯に配布した5,000円分のタクシー券について、対象者を拡大し、基準日に75歳以上の方全てに配布するものです。
- ・予防接種事業（3,095万2千円）  
子供のインフルエンザ予防接種を促進するため、6か月から12歳までは2回分、13歳から18歳までは1回分の予防接種費用を助成するものです。
- ・一部事務組合等負担金（715万7千円）  
つがる西北五広域連合病院事業の感染症対策として必要な人工呼吸器等の整備に要する費用を構成市町で按分して負担するものです。
- ・災害対策事務費（738万1千円）  
避難所における感染症拡大防止のため必要な備品等を整備するものです。
- ・小学校教室等空調設備整備事業（4億4,775万円）  
感染症予防、熱中症対策のため市内小学校の普通教室、特別支援教室及び職員室にエアコンを設置するものです。
- ・赤～いりんご振興対策事業（203万9千円）  
赤～いりんごの需要拡大につなげるため、赤～いりんごシードルの商品化を目指している事業者に対し、サンプルを示すことで、事業者の商品開発の支援を行うものです。

### ○令和2年度国民健康保険医科診療施設勘定特別会計補正予算（第1号） 【補正額228万1千円】

### ○令和2年度国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計補正予算（第1号） 【補正額115万円】

市浦医科・歯科診療所で患者の方と直接接する職員に慰労金を支給するほか、感染症拡大防止のため必要な備品等を整備するものです。

### ○令和2年度下水道事業会計補正予算（第1号） 【補正額】

収益的収入	19万1千円
収益的支出	▲179万1千円
資本的収入	739万円
資本的支出	937万2千円

定期人事異動に伴う人件費の不足を補正するものです。

## 条 例

### ○新型コロナウイルス感染症対策基金条例

新型コロナウイルスの感染拡大防止等に要する経費に充てるための基金を設置するものです。

### ○議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例

公職選挙法の改正に伴い、市議会議員及び市長の候補者の選挙運動のために頒布するビラについて公費で作成できることとするものです。

### ○津軽鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

津軽鉄道株式会社の鉄道のに供する固定資産に係る固定資産税の課税免除の適用期間を3年間延長するものです。

### ○承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、字句等を改めるものです。

○一般廃棄物処理施設設置条例の一部改正  
金木町喜良市地区に建設していた金木第2一般廃棄物最終処分場の完成に伴い、条例に規定するものです。

○工場立地法に基づく準則を定める条例  
国が定める基準に代えて市が条例で準則を定めることにより、工業専用地域における緑地等の面積率を緩和するものです。

## その他

○財産の取得  
財産の名称 学習者用コンピュータ端末  
数量 3,564台  
契約の方法 指名競争入札  
契約金額 1億6,014万8,340円  
契約の相手方  
弘前市大字高田三丁目6番地7  
株式会社ビジネスサービス 弘前支店  
支店長 鶴飼 宏悦



○字の区域の変更  
磯松地区での土地改良事業の施行に伴い、工事後の区画に沿った字の区域に変更をするものです。

○つがる西北五広域連合の共同処理する事務の変更及びつがる西北五広域連合規約の変更  
ふるさと市町村圏基金を廃止するほか、広域連合長の選挙を選挙管理委員会が定める場所で行えることとするものです。

## 議員発議

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響により、地方税・地方交付税など一般財源の激減が危惧されることから、国に対し必要な措置を講じるよう求めるものです。

提出先…衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、内閣官房長官

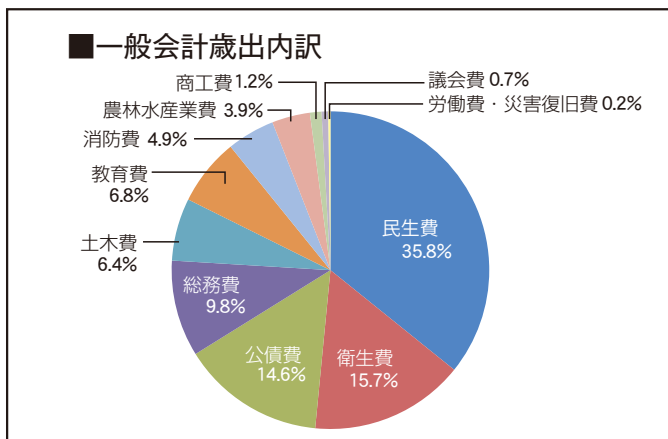
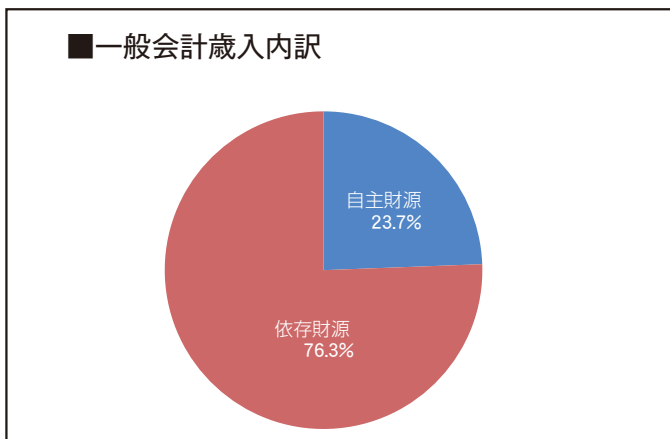
# 平成31年度 各会計決算 一般会計の実質収支は 5億6,840万9千円

平成31年度決算は、一般会計の実質収支額が5億6,840万9千円の黒字となったほか、健全化判断比率等の指標はいずれも健全化の基準を下回りました。

公営企業会計では、下水道事業会計において純損失が生じており、引き続き下水道未接続世帯への加入促進を図り、下水道使用料の確保に努めるとともに、計画的な維持管理、事業コストの縮減などへの取組が求められます。

平成31年度一般会計決算における歳入のうち、市税などの自主財源は76億3,776万7,599円（23.7%）となっており、残りの245億5,086万2,996円（76.3%）は地方交付税や市債、国・県支出金などの依存財源で賄われています。

歳出では、児童、高齢者、障害者及び生活困窮者等に対する福祉行政のために使われる民生費、保健衛生行政及び清掃行政のために使われる衛生費、地方債の償還のために使われる公債費の順に割合が高くなっています。



# 平成31年度五所川原市各会計決算の概要

## ○一般会計・特別会計

単位：千円

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	差引(形式収支)	翌年度繰越財源	実質収支
一	般 会 計	32,188,624	31,560,976	627,648	59,239	568,409
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定特別会計	6,648,001	6,367,063	280,938	0	280,938
	国民健康保険医科診療施設勘定特別会計	220,658	170,078	50,580	0	50,580
	国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計	41,271	36,065	5,206	0	5,206
	後期高齢者医療特別会計	646,146	622,874	23,272	0	23,272
	介護保険特別会計	6,705,709	6,444,189	261,520	0	261,520
	高等看護学院特別会計	99,047	90,415	8,632	0	8,632
	神山財産区特別会計	106	74	32	0	32
	松野木財産区特別会計	85	63	22	0	22
	戸沢財産区特別会計	145	74	71	0	71
	嘉瀬財産区特別会計	436	305	131	0	131
	喜良市財産区特別会計	139	0	139	0	139
	相内財産区特別会計	2,104	1,148	956	0	956
	脇元財産区特別会計	2,945	2,216	729	0	729
	十三財産区特別会計	631	81	550	0	550

## ○公営企業会計

単位：千円

会 計 名	総収益	総費用	純損益	資金剰余額
水道事業会計	1,432,315	1,260,615	171,700	1,155,010
工業用水道事業会計	104,326	99,117	5,209	258,081
下水道事業会計	832,291	996,715	△ 164,424	173,700

## ○健全化判断比率の状況

単位：%

健全化判断比率	平成31年度	平成30年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	-	-	12.67
② 連結実質赤字比率	-	-	17.67
③ 実質公債費比率	11.1	11.5	25.0
④ 将来負担比率	130.8	128.9	350.0

## ○資金不足比率の状況

単位：%

会 計 名	平成31年度	平成30年度	経営健全化基準
① 水道事業会計	-	-	20.0
② 工業用水道事業会計	-	-	20.0
③ 下水道事業会計	-	-	20.0

### 用語解説

- ①実質赤字比率 地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ②連結実質赤字比率 下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。
- ③実質公債費比率 地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ④将来負担比率 地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。
- ⑤資金不足比率 下水道などの公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。



※ 議会インターネット中継 <http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>  
 ※ 議員氏名横のQRコードをご利用いただくそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。



市民の声を聴く会

藤森 真悦



これからの地域医療(つがる総合病院)について

**問** つがる総合病院は開業以来約6年半が経過した。当初4階に配備を予定していた集中治療室(ICU)は未だに稼働していない状況が延々続いている。今から約11年前7月発行の市の広報で病院の基本設計の概要を発表している。4階にICUを配置、高度専門医療を提供すると謳っている。当時市民は新しい病院に期待をしたはずである。現在4階14病床は未だに空き部屋ではないのか?これはどういうことか?ECMO(エクモ/人工肺装置)が1台あるそうだが動かすチームすら無いのではないのか?コロナ禍の中、収束しても新たな感染症がすぐ来るとも言われている。重篤な患者が発生した時に我々は地域の病院で24時間迅速に助ける必要がある。ICU稼働には看護師不足という問題もあると思う。ハードルの低い準集中治療室(HCU)でもいい!稼働に持っていくことはできないのか?これからの地域医療について市長はどう考えるか?お伺いする。

**答** 私は市長であるとともにつがる総合病院を運営するつがる西北五広域連合の連合長である。就任後すぐに病院の地下1階から屋上まで全ての施設を見ている。確かに4階にICU14床の設備はもうある。だが救急救命医や研修医不足と共にマンパワー(看護師)不足によりICU/HCUの稼働は非常に厳しい状況であるのは確かである。だがつがる総合病院は急性期の医療機関の位置づけであることを勧案すると最低でもHCUの設置は当然考えている。

つがる総合病院は救急車で来る救急搬送が31年度年間3,137件その他の自分で来る患者が8,384件、救急外来患者が1万1,521件もある。この状況を考えて時、この病院がこの圏域の最後の砦となる病院であることを目指ししっかりと対応していく。現在市は病院に10億から12億という大きなお金を拠出している。金木病院も設備等が非常に老朽化しており今後大規模改修も考えられる。私はこれからの地域医療は非常に重要であると考えている。病院関係者、金木も含めつがる総合病院をもう一度見直しをして是非ともHCUの開設をしていきたい。将来に向けて市民が安心できる地域の良い病院を作っていきたい。



至誠公明会

秋元 洋子



金木町全体の観光エリアについて

**問** 金木観光物産館の今後について運営方針とスケジュール、運営の方法はどうするのか。

**答** 金木観光物産館は、指定管理者である協同組合金木あすなる商店会が、年々売り上げが減少した関係で令和2年8月31日で指定管理の基本協定を解消、現在は休館している状況である。今後令和3年度中にリニューアルをし、令和4年4月からの運営再開を目的に、一次産品を含む地域の特産品の直売機能を有する施設にする予定である。また運営方法は、①直営、②指定管理者による管理、③公設民営など様々な手法を視野に入れながら検討していく考えである。

芦野公園の動物園について

**問** 公園内の動物園について小動物を集めて子供たちが楽しめるよう整備すべきではないか。

**答** 現在芦野公園動物園では、ヒグマ3頭、うさぎ8羽、ウコッケイ1羽を飼育管理している。市民の方々から動物を増やして欲しいという御意見を頂戴しているが、動物園を再構築するためには財政や管理の面で課題が多すぎる。このため、現存する動物のままで管理を継続して、ヒグマ3頭が寿命を全うした時点で動物園を廃止することを検討している。



芦野公園動物園のヒグマ3頭



日本共産党

花田 進



新型コロナウイルスとインフルエンザ対策について

**問** インフルエンザと新型コロナウイルスは症状が似通っており、流行期には医療機関が大きく混乱すると言われている。そのためにインフルエンザの予防接種を強化していく必要があり、高齢者と子供のインフルエンザの予防接種に対し助成をするべきと考えるがいかがか。

**答** 高齢者への季節性インフルエンザ予防接種は、予防接種法施行令により原則65歳以上の希望する方を対象に定期接種として市町村が実施することとされている。今般新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していることから、発熱者を抑えることが医療機関の負担軽減になると判断し、今年度は高齢者への季節性インフルエンザに係る接種費用は無料で実施することとした。18歳までの市民を対象とした子供の季節性インフルエンザ予防接種についてもその費用を基本無料とし、多くの子供が季節性インフルエンザの予防接種を受けることができるように努めたところである。

豪雨災害について

**問** 豪雨災害の指針、避難の指針が洪水ハザードマップである。五所川原市のハザードマップはどのくらいのどんな洪水を想定して策定されているのか。

**答** 現在の当市の洪水ハザードマップは平成21年度に作成しており、岩木川水系岩木川では、おおむね百年に一度の確率の24時間総雨量192ミリの豪雨が発生した場合を想定している。今年度新たに作成するハザードマップは、岩木川水系岩木川では、千年に1度の確率の24時間総雨量279ミリ、岩木川水系旧十川、金木川、松野木川では364ミリの豪雨が発生した場合を想定している。また、カラー表記とし、土砂災害、河川浸水災害の区域を明記するほか、避難場所、避難所等をわかりやすく掲載する。年度末までに全世帯に配布するほかホームページへ掲載する予定としている。



新政会

黒沼 剛



指定管理者制度導入施設について

**問** 金木観光物産館の今後の運営方針について伺う。

**答** 金木観光物産館は、令和2年9月1日から市直営管理に移行したが、施設のリニューアルのため引き続き休業することとし、農林水産物の直売所を核とした、地域住民の皆様が気軽に立ち寄り、にぎわいを創出することで、地域経済の活性化にも資する施設を軸として整備を進めていく方針である。

今後の予定としては、地元を中心とした関係団体の御意見を伺いながら、金木地域に合った観光物産館の在り方を幅広く検討の上、令和3年度は改修工事を行い、令和4年4月からの運営再開を目指していく。



休館中の金木観光物産館マディナー

金木新庁舎について

**問** 建設工事の進捗状況と開庁予定について伺う。

**答** 金木庁舎新築工事は、建築、電気設備、機械設備の3工事に分離発注しており、令和元年6月14日に着工し、令和2年8月末時点の各工事の実施進捗率は、建築工事が86%、電気設備工事が65%、機械設備工事が80%で、3工事を合わせた全体の工事の進捗率は82.3%となっている。外部は外壁が完了し、2階屋上防水を終え、内部はエレベーター設置工事を完了し、現在は内装工事を行っており、令和2年11月30日の完成を経て、令和3年5月連休中に旧庁舎から移転し、連休明けに開庁する予定である。

※ 議員氏名横のQRコードをご利用いただくことそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。



議会インターネット中継

http://www.goshogawara-city.stream.jft.co.jp/



※ 議会インターネット中継 <http://www.goshogawara-city.stream.jfit.co.jp/>  
 ※ 議員氏名横のQRコードをご利用いただくとそれぞれの議員のインターネット中継へ簡単にアクセスできます。



至誠公明会

平山 秀直



新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 学校、図書館等における新型コロナウイルス感染症対策と快適な空間創出について伺いたい。

**答** 学校での3密対策としては、定期的な換気の徹底、隣席との間隔を離すこと、また教科によっては教室を分けて授業を行っているものもある。学校行事や集会は内容や方法の見直しを行い、参加者の制限、延期または中止の措置なども講じているほか、休み時間においても教職員が校内を巡回し、子供たちの活動が密接にならないよう指導している。

市立図書館では、定期的な換気を行っているほか、閲覧室の椅子を間引いて間隔の確保をし、職員が子供たちに声かけをしながらソーシャルディスタンスを保った閲覧ができるよう配慮している。



デマンド型乗合タクシーについて

**問** できるだけ多くのタクシー会社に参加してもらい交通空白地域を解消できないか。

**答** 乗合タクシーの事業は、地域公共交通活性化協議会が行う場合は、タクシー事業者が国の乗合タクシーの許可を得ることは必要とせず、協議会が国の許可を得て実施している。

市内にはタクシー事業者が全部で7社あるが、国の許可を得ている事業者は1社のみである。許可事業者が増えない理由としては、人材確保、採算性、許可手続等がネックとなっているとのことであり、市としては、許可手続の簡素化について東北市長会を通じて国に要望しているところである。



新政会

桑田 哲明



金木公民館の改修・建て替えについて

**問** 災害が発生した場合、金木公民館に避難するには金木川にかかる2本の橋のいずれかを渡らなければならない状況にある。避難場所として現在の場所で良いのか。

**答** 災害という観点から考えると、金木川は100ミリを超える雨が降るとレベル4の発令が出る。今は200ミリ等の雨量を想定してかからなければならない。そうなった場合、現在の金木公民館は避難場所としても公共施設としても機能しなくなるということから、まず改修ありきではなく、改修と建て替えの両方でそれぞれどれだけの費用がかかるのか、将来を考えたときにどういう公民館施設が求められているのか幅広く意見を聴き考える必要がある。



築46年が経過した金木公民館

マディニーの再開計画について

**問** 再開までただ2年間待ってくれといっても金木町民は不安で納得できない。市はきちんとこれからの再開に向けてのプロセスを住民説明会を開いて示す必要があるのではないか。

**答** 農作物の販売を含めて、地元で使ってもよし、観光客もその姿を見てよしというあくまでも地元を中心とした運用をしていくというのは当然である。この2年間というのはある意味で長いかわからないが、8月末で指定管理が切れて、これを機に9月から半年かけていろいろなものをしっかり調べて、地元を知り、そして地元の方と意見交換をしながら、確実に成功できるようなスキームをつくって運用していきたいと思っている。



新政会  
木村 清一



つがる総合病院の都市ガス利用について

**問** 震災に弱いとされる都市ガスを燃料として利用しているがこのままでよいのか。

**答** 非常時における動力源の確保は、特に医療行為を行う病院にとって非常に重要である。今後、現在の建物仕様においてA重油の備蓄量が適正であるのか、あるいは他の補助動力が必要なのか、補助燃料の確保をこれから考えていかなければならない。まずは、災害に強い病院、そして災害に強い行政管理施設をこれからしっかり構築していきたいと思っている。



旧市役所の解体と跡地について

**問** 跡地7,000平米の土地の再利用の方法について伺いたい。

**答** 旧庁舎跡地の利用方法としては、急性期病院であるつがる総合病院を補完するため、急性期を終え、在宅医療や介護が必要となった方の受皿となるような、例えば居宅型の施設、そして高齢者の福祉に資する施設など様々な活用が考えられる。運営に当たっては、直営あるいは公設民営、そして議員提言のPFIの導入など、効率的かつ効果的な質の高いサービスを提供することを実現するため、様々な選択肢を視野に入れながら検討していきたい。



現在の旧市役所庁舎

予算決算特別委員会

9月9日に全議員で設置された予算決算特別委員会は、委員長に松本和春委員、副委員長に桑田哲明委員を選任し、翌10日及び11日に平成31年度一般会計歳入歳出決算など22件について審査を行いました。委員会での質疑のうち、主なものを掲載いたします。

○平成31年度一般会計歳入歳出決算

- ・寄附金の内訳について
- ・ふるさと納税に対する返礼品の取扱い上位品目について
- ・ふるさと納税の今年度の寄附額について
- ・放課後児童健全育成事業の民間委託について
- ・放課後児童健全育成事業の民間委託後の支援員の雇用等について
- ・りんご黒星病への対応について
- ・農業次世代人材投資事業の実績と新規就農者へのサポートについて
- ・農業と連携した移住・定住の取組の推進について
- ・農業分野における人材確保の取組について
- ・中小規模農家への支援について
- ・タマネギ振興の取組状況について

- ・果樹放任園発生防止等対策事業の内容等について
- ・新型コロナウイルスの影響による稲作農家への支援について
- ・街灯設置の件数等について

○令和2年度一般会計補正予算（第5号）

- ・小学校教室等空調設備整備事業（コロナ対策）の内容と中学校へのエアコン設置の見直しについて
- ・新型コロナウイルスの学校現場への影響について
- ・小中学校における一人一台パソコン整備後の運用について

議会を傍聴される方へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴受付時に非接触式体温計による体温計測を行っています。

37.5度以上の発熱がある方は、傍聴をご遠慮いただきますのでご理解くださるようお願いいたします。





# 令和2年 第5回定例会議決結果表

## 【全会一致の案件】

議案番号	件 名	議決結果
議案第73号	平成31年度五所川原市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第74号	平成31年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第75号	平成31年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第76号	平成31年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第77号	平成31年度五所川原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第78号	平成31年度五所川原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第79号	平成31年度五所川原市高等看護学院特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第80号	平成31年度五所川原市神山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第81号	平成31年度五所川原市松野木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第82号	平成31年度五所川原市戸沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第83号	平成31年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第84号	平成31年度五所川原市喜良市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第85号	平成31年度五所川原市相内財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第86号	平成31年度五所川原市脇元財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第87号	平成31年度五所川原市十三財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第88号	平成31年度五所川原市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第89号	平成31年度五所川原市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第90号	平成31年度五所川原市下水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第91号	令和2年度五所川原市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第92号	令和2年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第93号	令和2年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第94号	令和2年度五所川原市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第95号	五所川原市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の制定について	原案可決
議案第96号	五所川原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ピラの作成の公営に関する条例の制定について	原案可決
議案第97号	五所川原市津軽鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第98号	五所川原市承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第99号	五所川原市一般廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第100号	五所川原市工場立地法に基づく準則を定める条例の制定について	原案可決
議案第101号	財産の取得について（学習者用コンピュータ端末）	原案可決
議案第102号	字の区域の変更について（磯松唐皮13の5ほか）	原案可決
議案第103号	つがる西北五広域連合の共同処理する事務の変更及びつがる西北五広域連合規約の変更について	原案可決
発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決

次回定例会の予定	12月 3日(木)	本会議(開会)
	12月 7日(月) ～ 8日(火)	本会議(一般質問)
	12月 9日(水)	本会議(総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託)
		予算特別委員会(組織会)
		常任委員会(議案審査)
	12月10日(木) ～ 11日(金)	予算特別委員会(議案審査)
12月17日(木)	本会議(閉会)	

※開会は午前十時を予定しています。  
※日程が変更になる場合があります。  
次回定例会日程が正式に決定されるのは十一月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

● お問い合わせ先…議会事務局

### 民生文教常任委員会現地調査

9月17日、民生文教常任委員会が、喜良市地区に完成した金木第2一般廃棄物最終処分場を視察しました。最新の浸出水処理施設を備えた最終処分場は、8万2,300立方メートルの不燃ゴミ等の埋め立てが可能であり、10月1日から供用が開始されています。



埋立地の様子

### ゲートキーパー研修

9月8日、認定NPO法人あおもりのちの電話事務局長の藤林正雄青森大学社会学部教授をお招きし、研修を受講しました。ゲートキーパーというのは、悩みを抱えた人に気づき、声をかけ、話を聴いて必要な支援につなげ見守る人のことです。受講した14名の議員がゲートキーパーの大切な役割について理解を深めました。



研修の様子

### 編集後記

「身近」になって欲しくないコロナ感染、また来たか。ここ数ヶ月思いがけずが増えた「おうち時間」。コロナウイルスに負けずに楽しく過ごす方法10選があった。部屋の整理では断捨離。不要な物を断ち、捨て、物への執着から離れる。次に自分の今日までの歩みについて調べる。写真アルバム、手紙、日記、パソコンデータ整理、病気、健康などあった。外出自粛、会合、イベントの中止などいつもより時間にゆとりができて、自分のために何かを始めようと思うのは、私だけでないと思います。

まだまだコロナが聞こえなくなるには時間がかかると思いますが、議員として、身近な議会、身近な議会だよりに「一歩一歩」近づくようにと思っています。(山口 孝夫)

### 広報広聴委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 山口 孝夫 |
| 副委員長 | 藤森 真悦 |
| 委員   | 寺田 幸光 |
| 委員   | 桑田 哲明 |
| 委員   | 黒沼 剛  |
| 委員   | 外崎 英継 |
| 委員   | 高橋 美奈 |

■発行／五所川原市議会 ■編集／広報広聴委員会

〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [五所川原市](#) [検索](#) → 五所川原市ホームページの関連サイト [五所川原市議会](#) をクリック

メールアドレス gikai@city.goshogawara.lg.jp

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見はよりよい議会だよりの発行に役立たせていただきます。



議会ホームページのQRコード